

資質向上のためのセルフチェックシート 【教諭】

記入年月日	令和 年 月 日
所 属	
職 氏名	

※「自己評価」 4:よく当てはまる 3:どちらかというと当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない

キャリア・ライフステージ	基礎力の形成期
年齢(目安) 教職経年数(目安)	23歳～27歳 1～5年
目指す教員像	初任校における学校勤務の経験を通じて、教育活動に関する基礎的な職務遂行能力を身に付けている。
岩手の基本研修	<div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 初任者研修 2年目研修 3年目研修 </div>

資質向上に関する指標		自己評価 ※								自己の資質向上のために今後取り組みたい事項、伸ばしたい力 等	
		①基本研修時				②年度末					
		4	3	2	1	4	3	2	1		
1 教員としての素養	使命感、責任感、倫理観	・教員としての使命や責任を自覚し、教育への情熱と誇りや高い倫理観を持っている。									
	教育的愛情	・児童生徒に対する愛情を持ち、一人一人の児童生徒と真剣に向き合っている。									
	豊かな人間性	・豊かな人間性を持ち、社会人としての常識や幅広い教養を身に付けている。									
	コミュニケーション力	・様々な背景・価値観を持つ人々と対話を通して情報共有し、相互に考えを伝え深め合いながら、合意形成を図り、課題を解決している。									
	自ら学び続ける意欲・探究心	・自立的に学び探求する姿勢を持ち、教育の情報化を含む時代や社会の変化、キャリア・ライフステージに応じて求められる資質を生涯にわたって高めている。									
	課題に立ち向かう力	・心身共に健康で様々な状況でも感情をコントロールしながら、忍耐力とチャレンジ精神を持って様々な課題に取り組んでいる。									
2 学習指導力	教育課程の編成・実施	・学校教育目標、教育課程、指導計画の内容を理解して教育活動を展開している。									
	教科教育等の専門性	・教科等の目標や教科の特質に応じた見方・考え方を踏まえ、指導の見通しを持って教材研究を実践している。									
	確かな学力を育む授業	・いわでの授業づくり3つの視点を踏まえた授業を展開するとともに、授業の評価を実践している。									
3 生徒指導力	児童生徒の集団指導	・学校教育目標を踏まえて、学級・部活動など担当する児童生徒の集団指導の方針を立てながら、個に応じた指導を実践している。									
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・教育活動のあらゆる場面でいじめ等の問題行動・不登校等の兆候を発見する視点を持ち、児童生徒一人一人と向き合っている。									
	教育相談	・学校の教育相談体制を理解し、必要に応じて助言を受けながら、随時的・計画的に教育相談の機能を教育活動に生かしている。									
4 マネジメント力	学校組織としての連携・協働	・校内における自己の役割を理解し、必要に応じて同僚の助言を受けながら業務を推進している。									
	危機管理	・常に児童生徒の安全・保健に配慮し、日頃から同僚との情報の報・連・相に努めている。									
	関係者等との連携・協働	・学級や部活動等で担当する児童生徒の保護者と積極的なコミュニケーションに努めている。									
5 復興教育の視点	・復興教育の理念や3つの教育的価値などを理解し、具体的な教育活動を実践している。										
6 キャリア教育の視点	・本県のキャリア教育の考え方や学校の実情などを理解し、小・中・高や社会との接続を意識しながら教育活動を実践している。										
7 特別支援教育の視点	・児童生徒一人一人の特性や学習状況の理解に努め、指導内容や指導方法を工夫している。										

※ 備考欄

資質向上のためのセルフチェックシート **【教諭】**

記入年月日	令和 年 月 日
所 属	
職 氏名	

※「自己評価」 4:よく当てはまる 3:どちらかという当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない

キャリア・ライフステージ	実践力の向上期
年齢(目安) 教職経験年数(目安)	28歳～32歳 6～10年
目指す教員像	複数の学校勤務の経験を通じて、教諭としての基盤を確立し、自らの実践を常に振り返りながら、職務遂行能力を向上させている。
岩手の基本研修	教職経験者5年研修(6年目)

資質向上に関する指標		自己評価 ※								自己の資質向上のために今後取り組みたい事項、伸ばしたい力等	
		①基本研修時				②年度末					
		4	3	2	1	4	3	2	1		
1 教員としての素養	使命感、責任感、倫理観	・教員としての使命や責任を自覚し、教育への情熱と誇りや高い倫理観を持っている。									
	教育的愛情	・児童生徒に対する愛情を持ち、一人一人の児童生徒と真剣に向き合っている。									
	豊かな人間性	・豊かな人間性を持ち、社会人としての常識や幅広い教養を身に付けている。									
	コミュニケーション力	・様々な背景・価値観を持つ人々と対話を通して情報共有し、相互に考えを伝え深め合いながら、合意形成を図り、課題を解決している。									
	自ら学び続ける意欲・探究心	・自立的に学び探求する姿勢を持ち、教育の情報化を含む時代や社会の変化、キャリア・ライフステージに応じて求められる資質を生涯にわたって高めている。									
	課題に立ち向かう力	・心身共に健康で様々な状況でも感情をコントロールしながら、忍耐力とチャレンジ精神を持って様々な課題に取り組んでいる。									
2 学習指導力	教育課程の編成・実施	・学校教育目標と教育課程及び指導計画の関係を理解して教育活動を展開している。									
	教科教育等の専門性	・キャリア教育や道徳教育の視点を持って、教科等の目標や見方・考え方を捉え、教材研究を実践している。									
	確かな学力を育む授業	・児童生徒一人一人の学習状況を把握しながら授業を展開するとともに、授業評価に基づき授業の工夫・改善をしている。									
3 生徒指導力	児童生徒の集団指導	・学級・学年・部活動など様々な児童生徒の集団指導の方針を同僚と共有しながら、指導スキルを向上させている。									
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・経験や研修等を通していじめ等の問題行動・不登校等発生時の対応スキルを身に付け、組織的に児童生徒の成長を支援している。									
	教育相談	・実践や研修等を通してカウンセリング技法を身に付けるとともに、スクールカウンセラーや養護教諭と積極的な情報共有に努めている。									
4 マネジメント力	学校組織としての連携・協働	・分掌内の動きを見通し、同僚と協働して業務を推進しながら、分掌運営に必要なスキルを向上させている。									
	危機管理	・危機を予測した未然防止や危機を察知した際の迅速な対応を意識して行動している。									
	関係者等との連携・協働	・保護者や地域など、関係者と良好な関係を築き、教育活動に生かしている。									
5 復興教育の視点	・学校や地域の実情・課題に応じて、地域や関係機関と積極的に関わりながら教育活動を展開している。										
6 キャリア教育の視点	・家庭、地域、企業、関係機関との関係を積極的に築きながら教育活動を展開している。 ・児童生徒の多様な進路選択に的確に対応するとともに、児童生徒の実態に応じたライフデザイン能力の育成を行っている。										
7 特別支援教育の視点	・個別の指導計画に基づいた指導を行い、客観的な視点による評価を行いながら指導を改善している。										

※ 備考欄

資質向上のためのセルフチェックシート 【教諭】

記入年月日	令和 年 月 日
所 属	
職 氏名	

※「自己評価」 4:よく当てはまる 3:どちらかという当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない

キャリア・ライフステージ	総合力の発揮期
年齢(目安) 教職経験年数(目安)	48歳～ 26年～
目指す教員像	教諭としてのこれまでの実践を基に、総合力を発揮しながら円滑な学校運営に貢献している。
岩手の基本研修	

資質向上に関する指標		自己評価 ※								自己の資質向上のために今後取り組みたい事項、伸ばしたい力等	
		①基本研修時				②年度末					
		4	3	2	1	4	3	2	1		
1 教員としての 素養	使命感、責任感、倫理観	・教員としての使命や責任を自覚し、教育への情熱と誇りや高い倫理観を持っている。									
	教育的愛情	・児童生徒に対する愛情を持ち、一人一人の児童生徒と真剣に向き合っている。									
	豊かな人間性	・豊かな人間性を持ち、社会人としての常識や幅広い教養を身に付けている。									
	コミュニケーション力	・様々な背景・価値観を持つ人々と対話を通して情報共有し、相互に考えを伝え深め合いながら、合意形成を図り、課題を解決している。									
	自ら学び続ける意欲・探究心	・自立的に学び探求する姿勢を持ち、教育の情報化を含む時代や社会の変化、キャリア・ライフステージに応じて求められる資質を生涯にわたって高めている。									
	課題に立ち向かう力	・心身共に健康で様々な状況でも感情をコントロールしながら、忍耐力とチャレンジ精神を持って様々な課題に取り組んでいる。									
2 学習指導力	教育課程の編成・実施	・教育課程や指導計画に対する評価に基づき、具体的な改善・充実に貢献している。									
	教科教育等の専門性	・教科等の今日的な動向を把握し、同僚教員に助言するなど、学校の教科等の指導力の向上に貢献している。									
	確かな学力を育む授業	・同僚教員の授業力向上を支援しながら、組織としての授業の工夫・改善と指導と評価の一体化に貢献している。									
3 生徒指導力	児童生徒の集団指導	・児童生徒の集団指導のスキルを同僚に対して積極的に開示し、学校の集団指導力の向上に貢献している。									
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・学校全体の動きに気を配り、同僚の課題解決を支援するなどいじめ等の問題行動・不登校等の解決に向けた環境整備に貢献している。									
	教育相談	・保護者等からの相談等に対して受容的に対処し、適切に助言するスキルを持ち、同僚の育成に努めている。									
4 マネジメント力	学校組織としての連携・協働	・学校全体の状況を踏まえ、管理職に改善方策などを具申し、調整を図りながら業務を推進している。									
	危機管理	・保護者、地域、関係機関からの要請や苦情に対して、円滑・迅速に対応している。									
	関係者等との連携・協働	・関係者との信頼関係を築き、地域の教育資源を教育活動に繋げている。									
5 復興教育の視点	・指導計画の立案、校内体制の構築など、教育活動全体を通じた復興教育の具体的な推進に貢献している。										
6 キャリア教育の視点	・学校のキャリア教育全体計画の立案、校内体制の構築など、社会の変化に応じたキャリア教育の具体的な推進に貢献している。										
7 特別支援教育の視点	・校内支援体制の充実や教職員の専門性の向上など、児童生徒のニーズに応える教育に貢献している。										

※ 備考欄

資質向上のためのセルフチェックシート 【校長】

記入年月日	令和 年 月 日
所 属	
職 氏名	

※「自己評価」 4:よく当てはまる 3:どちらかという当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない

キャリア・ライフステージ	総合力の発揮期 (校長)
年齢(目安) 教職経験年数(目安)	校長
目指す教員像	教職員の能力を把握して必要な支援を行い、関係者との連携・協働を図りながら、学校を組織体として機能させ、学校教育目標を達成している。
岩手の基本研修	新任校長研修

資質向上に関する指標		自己評価 ※								自己の資質向上のために今後取り組みたい事項、伸ばしたい力等	
		(①基本研修時)				(②年度末)					
		4	3	2	1	4	3	2	1		
校長としての素養	教諭として高めてきた素養・資質										
	教育者としての高い見識	・地域住民や関係機関の期待を受け止め職務の重要性を自覚している。									
		・教職員はじめ児童生徒・保護者・関係者に説明できる教育哲学・理念がある。									
		・豊かな経験に基づく的確な判断力、決断力、リーダーシップを有している。									
	・国・県・市町村の教育施策等について情報収集し教職員に周知している。										
マネジメント力	学校経営計画の達成	・自校の現状や児童生徒・保護者・地域・関係者のニーズを把握し経営計画を策定している。									
		・学校の経営資源を最適化し、進行管理することで目指す学校像や育てたい児童生徒像の実現に努めている。									
		・教育課程のPDCAを実践し、課題解決を図りながら学校教育目標の具現化に努めている。									
	教職員の管理	・教職員が各自の強みを発揮しながら組織的に活躍できる適切な校務分掌を編成している。									
		・教職員の日常のサービスを管理し、不祥事の未然防止に努めている。									
		・教職員のメンタルヘルスを含めた健康・安全・働き方に配慮し、業務改善を図りながら、風通しのよい職場風土を醸成している。									
	危機管理	・学校事故・いじめ・不登校等の未然防止に努めるとともに、発生時の適切な初動・事後対応に組織的かつ迅速・的確に対応している。									
・学校安全・学校保健・食育等に関する計画を策定し、周知・理解を徹底している。											
事務管理	・学籍・文書・財務・施設の管理を法令等に基づき適切に行っている。										
関係者等との連携・協働	・家庭・地域・関係機関と適切に連携・協働し、より良い学校運営に努めている。										
	・学校教育目標・経営計画等について、学校運営協議会委員等の理解を得るとともに、保護者や地域に対して積極的に発信している。										
教職員の人材育成	・教職員の特性を見出し、日常的に資質向上やライフプランに関する指導・助言を行っている。										
	・OJTや校内研修等を活用し、教職員個々の資質や組織としての対応力を向上させている。										

※ 備考欄